

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【公開番号】特開2021-11581(P2021-11581A)  
 【公開日】令和3年2月4日(2021.2.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-005  
 【出願番号】特願2020-173999(P2020-173999)  
 【国際特許分類】

C 0 8 F 2/26 (2006.01)  
 C 0 8 F 14/18 (2006.01)  
 C 0 8 L 27/12 (2006.01)  
 C 0 8 K 5/09 (2006.01)  
 C 0 8 K 5/42 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/26 Z  
 C 0 8 F 14/18  
 C 0 8 L 27/12  
 C 0 8 K 5/09  
 C 0 8 K 5/42

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月30日(2021.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フルオロポリマーを含み、

下記一般式(3)で示される化合物を実質的に含まない組成物であって、  
 前記組成物が、

下記一般式(4)で示される化合物、及び/若しくは、下記一般式(4')で示される化合物を、フルオロポリマーに対して100ppb以上含むか、または、

下記一般式(5)で示される化合物、及び/若しくは、下記一般式(5')で示される化合物を、フルオロポリマーに対して100ppb以上含む

組成物。

一般式(3)： $(H - (CF_2)_8 - SO_3)_q M^2$

(式中、 $M^2$ はH、金属原子、 $NR^5_4$ 、置換基を有していてもよいイミダゾリウム、置換基を有していてもよいピリジニウム、又は、置換基を有していてもよいホスホニウムであり、 $R^5$ はH又は有機基であり、同一でも異なっていてもよい。qは1又は2である。)

一般式(4)： $(H - (CF_2)_7 - COO)_p M^1$

(式中、 $M^1$ は、H、金属原子、 $NR^5_4$ 、置換基を有していてもよいイミダゾリウム、置換基を有していてもよいピリジニウム、又は、置換基を有していてもよいホスホニウムであり、 $R^5$ はH又は有機基であり、同一でも異なっていてもよい。pは1又は2である。)

。)

一般式(4')： $(H - (CF_2)_8 - COO)_p M^1$

(式中、 $M^1$ は、H、金属原子、 $NR^5_4$ 、置換基を有していてもよいイミダゾリウム、

置換基を有していてもよいピリジニウム、又は、置換基を有していてもよいホスホニウムであり、 $R^5$ はH又は有機基であり、同一でも異なってもよい。pは1又は2である。

一般式(5)： $(H - (CF_2)_{1-3} - COO)_p M^1$

(式中、 $M^1$ は、H、金属原子、 $NR^5_4$ 、置換基を有していてもよいイミダゾリウム、置換基を有していてもよいピリジニウム、又は、置換基を有していてもよいホスホニウムであり、 $R^5$ はH又は有機基であり、同一でも異なってもよい。pは1又は2である。

一般式(5')： $(H - (CF_2)_{1-4} - COO)_p M^1$

(式中、 $M^1$ は、H、金属原子、 $NR^5_4$ 、置換基を有していてもよいイミダゾリウム、置換基を有していてもよいピリジニウム、又は、置換基を有していてもよいホスホニウムであり、 $R^5$ はH又は有機基であり、同一でも異なってもよい。pは1又は2である。

**【請求項2】**

一般式(3)で示される化合物の含有量が、フルオロポリマーに対して、1000ppb以下である請求項1記載の組成物。

**【請求項3】**

一般式(3)で示される化合物の含有量が、フルオロポリマーに対して、25ppb以下である請求項1又は2記載の組成物。

**【請求項4】**

一般式(4)で示される化合物を、フルオロポリマーに対して100ppb以上含む請求項1～3のいずれかに記載の組成物。

**【請求項5】**

一般式(5)で示される化合物を、フルオロポリマーに対して100ppb以上含む請求項1～3のいずれかに記載の組成物。

**【請求項6】**

一般式(4)で示される化合物、及び/若しくは、下記一般式(4')で示される化合物を、フルオロポリマーに対して1000ppb以下含むか、または、下記一般式(5)で示される化合物、及び/若しくは、下記一般式(5')で示される化合物を、フルオロポリマーに対して1000ppb以下含む、かつ、非イオン性界面活性剤を1質量%以上含む請求項1～5のいずれかに記載の組成物。

**【請求項7】**

一般式(4)で示される化合物を、フルオロポリマーに対して1000ppb以下含む、かつ、非イオン性界面活性剤を1質量%以上含む請求項1～5のいずれかに記載の組成物。

**【請求項8】**

一般式(5)で示される化合物を、フルオロポリマーに対して1000ppb以下含む、かつ、非イオン性界面活性剤を1質量%以上含む請求項1～5のいずれかに記載の組成物。

**【請求項9】**

水性分散液である、請求項1～8のいずれかに記載の組成物。

**【請求項10】**

一般式(4)で示される化合物及び下記一般式(4')で示される化合物の少なくともいずれかを含み、一般式(4)で示される化合物の含有量が、フルオロポリマーに対して1000ppb以下であり、一般式(4')で示される化合物の含有量が、フルオロポリマーに対して1000ppb以下であるか、または、

一般式(5)で示される化合物及び下記一般式(5')で示される化合物の少なくともいずれかを含み、一般式(5)で示される化合物の含有量が、フルオロポリマーに対して1000ppb以下であり、一般式(5')で示される化合物の含有量が、フルオロポリマーに対して1000ppb以下である

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 1】

一般式 (4) で示される化合物を、フルオロポリマーに対して 1000 ppb 以下含む請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 2】

一般式 (5) で示される化合物を、フルオロポリマーに対して 1000 ppb 以下含む請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 3】

フルオロポリマーは、炭化水素系界面活性剤を用いて重合して得られたものである請求項 1 ~ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 4】

粉末である請求項 1 0 ~ 1 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 5】

焼成後の色調  $L^*$  が 50 (フッ素未処理) 以下である請求項 1 4 記載の組成物。

【請求項 1 6】

フッ素化処理前後の色調変化率  $L^*$  が 70 % 以上である請求項 1 4 記載の組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 4 ~ 1 6 のいずれかに記載の組成物からなる成形体。

【請求項 1 8】

延伸体である請求項 1 7 記載の成形体。